

鬼の舌震で川開き安全祈願祭

奥出雲町を代表する景勝地「鬼の舌震」の川開き安全祈願祭が4月23日、「舌震の恋」吊橋」前で行われました。地元団体や奥出雲観光文化協会などの関係者約30人が出席し、シーズン中の安全と多くの観光客の来訪を祈りました。

式の中で、観光文化協会会長の勝田町長からは、昨年度設置した英語表記の案



大原神社の後藤宮司が安全を祈願



勝田会長(町長から感謝状を受け取る山田さん

内看板に触れ「外国から訪れた方々まで楽しめる自然公園となり更に賑わうことを期待している」とあいさつがありました。

また、舌震亭の山田文子さんに観光文化協会から感謝状が贈られました。山田さんは、永年にわたって舌震亭で丁寧な接客を続けられています。93歳というご長寿ですが、これからお元気で続けていただきたいと思っています。

安全祈願祭が終わると、玉日女橋付近の川辺で三成幼稚園の園児たちが、ヤマメ50匹を放流しました。

この日は晴天に恵まれ、早速家族連れなど多くの観光客が訪れていて、吊橋から新緑の渓谷の眺めを楽しむ姿が見られました。

船通山でカタクリ登山

恒例となった船通山のカタクリ登山が4月29日に開催され、町内外から約30人が参加しました。

このカタクリ登山は、カタクリの花が見ごろを迎えるこの時期に毎年開催されており、横田山の会の草木の解説を聞きながら頂上を目指しました。

今年は例年になく芽吹きが早いとのことで、新緑の景色と香りを感じながらの登山となりました。



山頂は大勢の登山客で賑わいました(紙芝居の様子)



この日は天候にも恵まれ一般の登山者も多く、山頂は500人を超える人で賑わいました。満開を迎えた薄紫色のカタクリの花が一面に広がり(Ⅱ写真)、カメラに収める人や花を見ながら昼食を取る人など、思い思いに楽しんでいました。

昼食時には横田山の会の皆さんによるカタクリの生態を紹介する紙芝居があり、登山者は興味深く耳を傾けていました。

玉峰山で山開きとしやくなげ登山

玉峰山で5月2日、山開き安全祈願祭があり、地元の関係者など約20人が出席し、シーズン中の無事故を祈りました。また、同時に開催されたしやくなげ登山には、町内外から160人を超える登山客が訪れました。

登山客は仰支斯里神社の石原通夫宮司によるお祓いを受け、登山道についての説明を聞いた後、思いのペースで山頂を目指しました。

ながら昼食を取っていました。下山した登山客には、亀高公民館と地元のボランティアの皆さんが用意した山菜の天ぷらが振る舞われました。タラの芽、コシアブラなどの山菜や、藤の花、椿の花など20種類近くあり、登山客は山の味を堪能しました。



シーズン中の安全を祈願

登山日和の中、玉峰山の自然を満喫する登山客(小窓岩で)



鯛ノ巣山で山開き神事

阿井地区にある鯛ノ巣山で5月4日、鯛ノ巣山の自然を守る会(立石一美会長)の主催で山開き神事が行われ、地元関係者など約30人が参列しました。

大原神社の後藤和彦宮司により神事が執り行われ、シーズン中の安全を祈願しました。

立石会長からは、「安全で楽しい登山ができ、たくさんの方に登ってもらえるようにしたい」とあいさつがありました。

また、町長代理として出席した本山観光推進課長からは、「近年

登山口駐車場で行われた山開き神事



の登山ブームで山に対する関心が高まっている。鯛ノ巣山にも多くの観光客が訪れると期待しています」とあいさつがありました。

鯛ノ巣山は、上阿井と雲南市吉田町との境にある標高1026mの名峰です。頂上からは大山、島根半島、宍道湖を眺めることができます。また、秋には紅葉が楽しめる、弁当岩から眺める景色は絶景です。

これまでは頂上で折り返す登山者が多かったことから、同会により頂上付近に、弁当岩と下山道を示す案内標識(Ⅱ写真)が設置されました。

